

質疑者 北山 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>1. 神戸ビエンナーレについて</p> <p>昨年10月1日から11月23日にかけて開催された「第3回神戸ビエンナーレ2011」は、ポーアイしおさい公園ばかりでなくJR元町高架下などのサブ会場も含めての開催で、大変な賑わいとなり来場者数は約24万を超えた。</p> <p>ビエンナーレも3回目となり、1回目は非常に心配したが段々素晴らしくなっており、特に今回は、JR高架下会場が非常に良かった。</p> <p>色んな角度から作品の創作過程を見られたことで、アーティストと鑑賞者とがより一層交流を図ることもできたという点で評価している。</p> <p>新長田の人が見て、「この会場を長田にも持って来てほしい」と言っている。新長田の南側の六間道のあたりである。こんな素晴らしいものはどんどん持って行ってあげてほしい。</p> <p>「神戸2015ビジョン」に掲げられている「文化芸術を活かしたまちづくり」の先駆者として、ビエンナーレ会場を西神戸に持っていくことについて検討いただきたいが、見解を伺いたい。</p> <p>(要望)</p> <p>ビエンナーレの費用で全部やってくれというつもりはない。ルミナリエも色んなところから募金を集めてやっている。一銭も負担せずにやってくれという神戸市民はいない。地</p>	<p>衣川参事</p>	<p>ビエンナーレについてお褒めの言葉をいただき、感謝する。神戸ビエンナーレは、「アートを活かしたまちづくり」を基本方針にかかげており、全市的に展開したいと考えている。しかし、神戸ビエンナーレ自体が実施主体となって、そういった事業を全て行うのは、体制面や経費面で限界があるため、ビエンナーレ2011では、神戸ビエンナーレ協賛事業という形で200を超える多様な事業と連携し、お互いに広報PRを行った。取り組みに広がりを持たせるには、こうしたやり方も一つの方法であると考えている。</p> <p>委員のご提案は、神戸ビエンナーレの基本方針である「アートを活かしたまちづくり」に合致したものであるが、先ほど申し上げたとおり体制面、経費面での限界があり、他の会場との位置関係なども踏まえ総合的に判断する必要があることから今すぐにはお答えしかねるが、今後、神戸ビエンナーレがどのように関わっていくことができるのか検討してまいりたい。</p>

質疑者 北山 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>元も負担するので、地元呼びかけて一緒にやってみようか。ルミナルエの時のように、神戸に行けば市全体でビエンナーレをやっているというようにし、神戸に行こうと言ってもらえるようになれば一番いい。</p>		

質疑者 北山 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>2. 高年齢者就業支援について</p> <p>多くの職場で60歳が定年になっているが、いまや60歳は働き盛りである。定年だからと辞めさせるのは、人材という社会の宝を捨てることになる。65歳までの高年齢者雇用確保措置を講ずることが義務付けられたが、高齢者の働く場所を作るのが大事である。</p> <p>神戸いきいき勤労財団では生きがい支援に取り組んでおり、市民参画推進局も財団に対して助成を行っているが、まだまだ働く意欲を持ち、資格をとって新しいことにチャレンジしようと思っているような高年齢者の資格取得を支援し、社会貢献していただくシステム作りをすべきと考えるがどうか。</p> <p>(要望)</p> <p>色々な講座があるようだが、60歳を過ぎてから資格を取って、能力を活かしてやっていこうという人限定の講座をやってもらいたい。若い人と一緒にちょっと、という人もいる。そういう人にもチャンスが与えられるようになってほしい。高齢者を使わない手はない。人財である。</p>	<p>局 長</p>	<p>財団ではこれまで、高年齢者を対象としたものとして、「熟年生活講座」、「各種資格取得支援講座」等を実施してきたほか、高齢者には限っていないが、資格取得支援セミナー、ファイナンシャルプランナー、TOEIC、簿記や宅地建物取引主任者、社会保険労務士などのセミナーを行っており、高齢者の方が受講されているということがあるようである。そういった中で今後とも対応してまいりたい。</p>